

# USE system

Universal Subcutaneous Endoscope system

INVENTED BY I.OKUTSU,M.D.

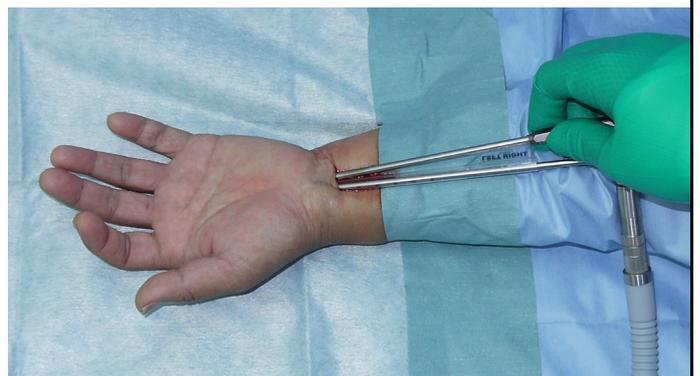


屈筋支帯を鏡視



屈筋支帯切離後

**TACT** MEDICAL

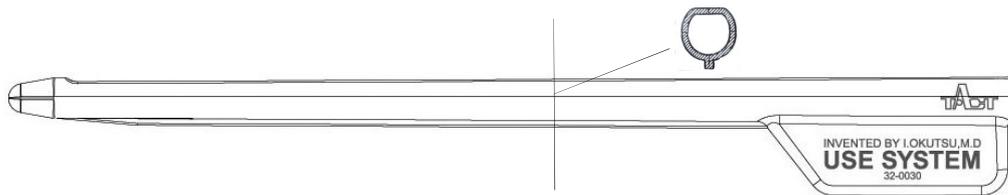


# USE system

## Universal Subcutaneous Endoscope system

開発者である、奥津一郎先生(おくつ整形外科クリニック院長)は1980年初頭に、手根管症候群の標準的観血手術における手術侵襲の大きさに疑問をもち、1986年に関節外内視鏡手術を可能とするUniversal Subcutaneous Endoscope [USE] systemを考案されました。局所麻酔下に空気止血帯を用いることなしに、前腕1箇所、1cmの皮膚切開から屈筋支帯とdistal holdfast fibers of the flexor retinaculum [DHFFR] を切離して手根管を完全開放・完全除圧、ひいては正中神経の除圧を達成できる内視鏡手術を世界に先駆けて行ってこられました。本製品は上記術式をはじめ肘部管症候群など様々な関節外内視鏡手術用として、開発者である奥津先生と共に改良を重ね、現在の形状に至りました。

\* 鮮明な画像を確保するためシースの肉厚は約0.5mm程度になっています。折損などを防ぐため曲げ荷重の過剰な集中など、無理な力がかからないようにご注意ください。



シースには先端の約1cmを除き全長に渡り幅約4mmの平坦面と、それに対面する180°の位置には高さ約1mmのレール状のガイドが設けられており、フックナイフ、プッシュナイフあるいはスクレーパー等処置具の安全な使用を補助します。\*レールは神経と接する方向には向けないようご注意ください。

品名	型番	構成
USEシステムキット	32-0011	シース 内視鏡での視野を確保する為の透明な閉鎖性外套管。 *通常はφ4mm 30°の斜視鏡を使用します。 フックナイフ 神経を圧迫している組織を切離する。 スクレーパー 腱滑膜組織等を剥離する。
ハンドル	32-0003	フックナイフ、スクレーパー使用する際に使用するハンドル。再使用可

フックナイフとスクレーパーは刃物作り100年を超える歴史を持つ、カイインダストリーズ(株)(貝印グループ)で製造しています。

本カタログに掲載の仕様・形状・寸法などは改良等の理由により、予告なく変更することがあります。

USEシステム 製造販売届出番号 13B1X00082600054

フックナイフ、スクレーパー 製造販売届出番号 13B1X00082600055

### 参考文献

奥津一郎、二ノ宮節夫、夏山元伸、高取吉雄、稲波弘彦、黒島永嗣、平木誠一郎; Universal Endoscopeの開発と皮下鏡視下手術の試み、日整会誌 61:491-498,1987

I.Okutsu, S.Ninomiya, Y.Takatori, Y.Ugawa; Endoscopic Management of Carpal Tunnel Syndrome, Arthroscopy 5 (1):11-18,1989

I.Okutsu, S.Ninomiya, I.Hamanaka, N.Kuroshima, H.Inanami; Measurement of Pressure in the Carpal Canal before and after Endoscopic Management of Carpal Tunnel Syndrome, J. Bone and Joint Surg Am. 71:679-983,1989

奥津一郎、浜中一輝、二宮節夫、田邊恒成; 整形外科領域における関節外鏡視手術(骨・軟部), 整形外科 50:1012-1018, 1999

浜中一輝、奥津一郎; 鏡視下手根管開放術, 関節外科 20(10):53-63, 2001

奥津一郎、浜中一輝、吉田綾; Day surgeryによるUSE systemを用いた手根管症候群の内視鏡手術, 骨・関節・靭帯 18 (3):207-215, 2005

吉田綾、奥津一郎、浜中一輝; 肘部管症候群に対する内視鏡を用いた手術治療, 整災外 51:1583-1587, 2008

I.Okutsu; How I Developed the World's First Evidence-Based Endoscopic Management of Carpal Tunnel Syndrome, Hand Surgery 15(3):149-155, 2010



製造販売元

タクト医療株式会社

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-16-1

Tel.03-5644-8711

Fax.03-5641-5814

www.tact-medical.co.jp

202302